

地域戦略人材塾 第7回「シティプロモーションの基本」

(講師：牧瀬稔先生)

コメントシートのまとめ

今回のコメントシートには、特にご質問、ご要望等はありませんでした。皆さまの感想などを以下に取りまとめましたので、ご覧ください。

- ・自分の自治体を営業で売込むという視点に気づかされました。
マーケティング戦略としてターゲットを絞ることが重要なのは理解していましたが、公平公正を旨とする行政においてもメインターゲットを絞って考えることが重要だと気付かされました。
また、PDCAの前のデータ収集と分析の重要性にも気付かされました。
事業のターゲットを絞っていくことはすぐに取り入れたい考え方です。
しかし、先生もおっしゃっていたように人員不足と業務量が多いことは現実としてあるため、計画を立てターゲットを絞る以前の分析に時間を割くのが難しいかもしれません。
講義で教わった考え方が職員の中で一般化すれば、仕事のやり方が変わり、やっつけの仕事は減っていくと思います。
多くの職員で共有したい講義だと思いました。ありがとうございました。
- ・シティプロモーションで、重要になる点を押さえることがよくわかった。
- ・町ではシティプロモーションはしていませんが、ほぼ梅一本で売り出しているのだから、絞ることの重要性は間違っていないのだと改めて思いました。
みんな割と三塁に向かって走っている人もいそうなので、どんな仕事もデータとマーケティングをして方向性を打ち出せば間違った方向には行かないと思った。昔と違い役場職員はルーティワークをしていけばいい時代は終わったので、それとのギャップもあって鬱になる人が多いと思います。
阿南市さんはお隣になるのですが、(海を挟みますが) SUPを通じてあそこまで展開しているところは凄くて素晴らしいと思います。今度、行ってみようと思います。
- ・メインターゲットを決めていく際にどこまで細分化して考えていくべきなのかという点について、非常に参考になりました。
- ・シティプロモーションにおけるターゲットの絞り込みの重要性について興味深く拝聴させていただきました。

また、本市では「何をしたいのか」「目的・目標（ターゲット）」が定まらずに事業を実施していることが多く、PDCA サイクルをうまく回せていないと感じている。PDCA サイクルの P がそもそも間違っているという話には感じるものがあった。

持続可能な自治体経営のためには、シティプロモーションによる地域の賑わいの創出、活性化が不可欠であると考えており、そのための目的の明確化、ターゲットの絞り込み、マーケティング手法など大変有意義に学ぶことができた。

- ・自治体のプロモーションの仕方について、人が来たがるようなキャッチフレーズやそれに見合った施策をしていくのが大事なのだと感じた。漠然と人口を増やしたいと考えるのではなく、どの層をメインターゲットとし、どのようにして増やすのか具体的に考えるのが必要であると気づいた。何でもかんでも新しい施策を始めれば良いというわけではないと感じた。

現在行っている施策の見直しをし、本町が重点を置く世代に有効な施策であるか、無駄なものがないかを精査するいい機会となった。

今回のように施策やキャッチフレーズの良い例、悪い例を具体的にあげてくれるような講義があれば良い。

皆さまからご感想を頂戴し、ありがとうございました。 地域戦略人材塾 事務局